



わざわざみんなで作ってきた  
思いがカタチになってきた！

6月13日、梅雨の合間の蒸し暑い火曜日の夜、下呂市民会館2階の大会議室で9回目の南飛騨総合健康アリーナ(仮称)ワークショップ(WS)を行いました。この日もまた新しいメンバーが加わって、参加者は事務局スタッフもあわせて44名でした。

今回のテーマは、基本設計案の最終確認。施設の基本コンセプトである「交流」= 原点に立ち戻り、これまでにみんなで一生懸命検討してきた内容を受け、再作成したプランについて、設計チームから説明がありました。

そのあと、ひとりひとりが設計案に対する質問カードと、さらに良いものにするための提案カードを書いて貼り出し、それをもとに、建築設計や音響、舞台の専門家が、ひとつずつ回答・説明しながら、意見交換をしました。

そして最後に、これからの「カタチづくり」「しくみづくり」「きもちづくり」にむけた「決意」をカードに表明。夢や期待が膨らむ楽しい会になりました。



南飛騨総合健康  
アリーナ(仮称)  
ワークショップ



## WS9 「みんなでカクニン。基本設計最終案 しつもん&ていあん よりよくするために！」

これで  
いきましょう！  
基本設計最終案

アリーナ 前回議論になった「フロア面積の縮小」ですが、現在なんとか予算増額の方で以前の規模(38m x 47m)を確保することができそうです

ここが  
オススメ！  
オススメカードより



- ホール** ホール・イン・ホール(客席部に前舞台を設置する劇場のコンパクト利用)をやめ、舞台上に客席と舞台を設ける「ステージ・オン・ステージ」方式を提案します
- 棚田テラス** 自由に使えるPODや可変性のあるオープンな空間を取り入れた、立体的で回遊性のある楽しい空間です
- 屋外** 縁側テラス付近には、子どもたちが水遊びできる「せせらぎ」。建物の東側には棚田の地形を活かした「棚田ピオトープ」。棚田の原風景を大切にします

- ◀ 舞台と客席が一体となる音楽の響くホールです！
- ◀ よりシンプルになり、より自由に使うことができる創造性豊かなホール！演者と観客の親密感！
- ◀ 他に例を見ない自由な活動フィールド！
- ◀ 棚田テラスがホールとアリーナを空間的、視覚的につないでいる。こんな施設ほかにないヨ！
- ◀ 棚田の景観の再生。水を活かしたランドスケープ
- ◀ 屋内外が連続した活動空間。庇の下でバザーも

今年度WSのプログラム案は... いよいよ運営計画はじまるよ

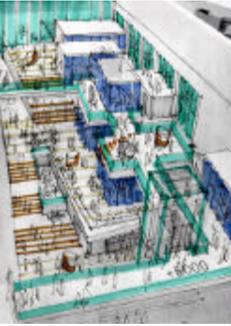
今年度は  
カタチ(設計) しくみ(運営) キモチ(仲間)づくり

7月ごろ...	「なにをやるのかな? 事業計画の検討」
8月ごろ...	「どうやってPR? 広報宣伝計画の検討」 <b>イベント</b> 基本設計(案)お披露目フォーラム
9月ごろ...	「利用のルールは? 施設管理計画の検討」
10月ごろ...	「運営組織計画の検討 & イベント企画」 <b>イベント</b> こどもまちタンケン&敷地でパーベQ
11月ごろ...	「収支・評価・情報公開 & イベント企画！」
12月ごろ...	「手づくり企画の楽しいイベント！」 <b>イベント</b>
1月ごろ...	「施設管理運営基本計画について」
2月ごろ...	「確認しよう! 運営基本計画案」 <b>楽しいイベントも企画しよう</b>

### Q&A

「しつもんカード」より

**ホール**  
Q: ホールの客席数は何席ですか?  
A: 約800席です

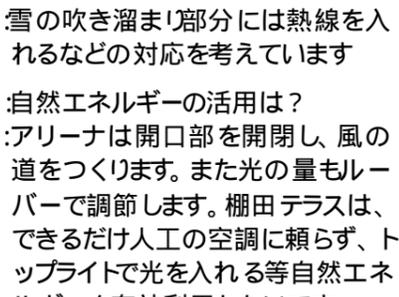


**棚田テラス**  
Q: 飲食は?  
A: 軽食を提供するカフェ程度を想定中  
Q: マルチスタジオは何人?  
A: 最大200。通常100人

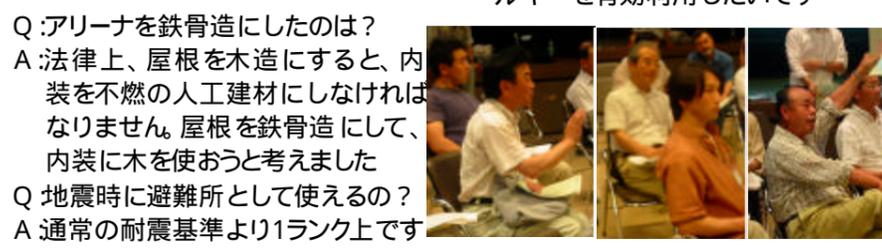
**設備**  
Q: ホール・棚田テラス・アリーナ間の音の遮断は大丈夫ですか?  
A: 日常的な使用上は問題ないと思いますが、遮音にも限度がありますので、うまく運用してほしいですね  
Q: 積雪、除雪対策は?  
A: 雪の吹き溜まり部分には熱線を入れるなどの対応を考えています  
Q: 自然エネルギーの活用は?  
A: アリーナは開口部を開閉し、風の道をつくります。また光の量もルーバーで調節します。棚田テラスは、できるだけ人工の空調に頼らず、トップライトで光を入れる等自然エネルギーを有効利用したいです

Q: フライタワーは、こんなに高さが必要なんですか?  
A: 舞台上部に照明バトンや緞帳等を吊るので、舞台開口高さの約2.5~3倍のフトコロが必要です  
Q: ステージオンステージの客数は?  
A: 法規上は800人です(笑)。実際は200人ぐらい舞台上がれますよ

**バリアフリー**  
Q: 階段が多いけど、バリアフリー対策は充分ですか?  
A: エントランスのシースルーエレベーターで、すべての床レベルに行くことが可能です  
**構造 仕上げ**  
Q: アリーナを鉄骨造にしたのは?  
A: 法律上、屋根を木造にすると、内装を不燃の人工建材にしなければなりません。屋根を鉄骨造にして、内装に木を使おうと考えました  
Q: 地震時に避難所として使えるの?  
A: 通常の耐震基準より1ランク上です



**アリーナ**  
Q: コンサートをする場合の音響は?  
A: アリーナは基本的にスポーツ中心で考え、コンサート時の音響設備は持込で対応したいと思えます



もっとよく  
するために  
「ていあんカード」より

マルチスタジオに床暖房。近くに給湯設備を！  
まめ POD8をキッズルーム(託児室)に！  
舞台も1つの「まめ POD」として利用しよう！  
アリーナの換気をして十分な酸素量を確保！  
移動式壁があればテニスの壁打ちもできる！

内装にたくさんの飛騨の木を使いたいネ！  
駐車場はカラー舗装 o 芝舗装にしたら？  
車椅子の人もラクに利用できるように！  
トイレのドアは引き戸がいいな！  
施設までの交通アクセスも考えよう！

### My 決意表明!

「意見込みカード」より

- 山椒は小粒でもピリリと辛い。何が何でも成功させるゾ!
- とにかく最後まで関わっていきます!
- 仲間を増やして、元気なまちづくりについて考えたい!
- 多くの市民の意見を取り入れてより利用しやすい施設にしたい
- 一人でも多くの方に計画やWSについて伝えていきたい!
- できた施設を有効に使うのは僕ら。たくさんアイデアを出したい!
- イベント大好き! こどももどんどん参加させて下呂大好きっ子にさせたい!
- 下呂市民が心の底から誇れる施設の建設を!
- 管理運営! いよいよおもしろくなりそう! たくさん出席して色々な意見を聞きたい
- 合併のシンボル、文化発信の情報基地になるよう努力したい
- 運営に参加したい! イベント企画もしたい

第10回 南飛騨総合健康アリーナ(仮称)ワークショップ  
WS10 「プチ講座 施設運営編」+  
「何をやるのかな? 年間事業計画の検討」  
管理運営の基本理念や年間事業などについて話し合おう!  
7月13日(木) 7時~9時30分ごろ  
下呂市民会館 2階 大会議室にて

ひとことアンケートより  
質疑応答は理解を深める上で大変よかった / 棚田テラスのイメージがよかつつよかつよ / いよいよ具体的になってきた。今後が楽しみ / 皆の意見を取り入れていただき設計士さんには感謝しています / 旧町村の方々の理解がなかなか得られない。全員でがんばろう / 今後も情熱的でアットホームなワークショップであってほしいほか

<発行>  
下呂市役所 建設部 建設課 まちづくり推進室  
<編集協力>  
㈱日本設計 デザイン・コーディネートチーム  
<お問い合わせ/事務局>  
TEL 0576-52-2000(内線214) FAX 0576-52-3676  
E-mail: satoshi-km@city.gero.lg.jp